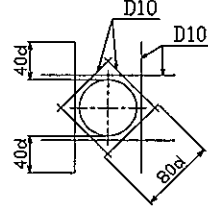
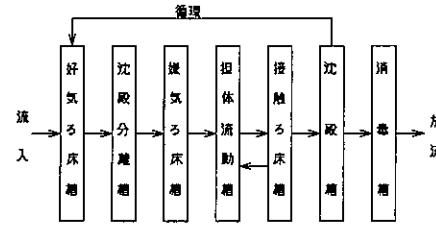


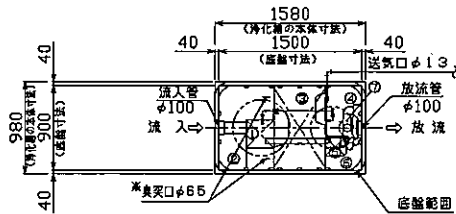
頂版開口図 S=1/40



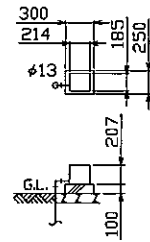
開口補強筋要領図 S=1/40



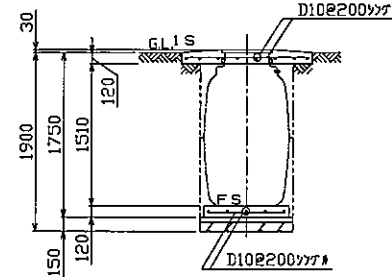
フローシート



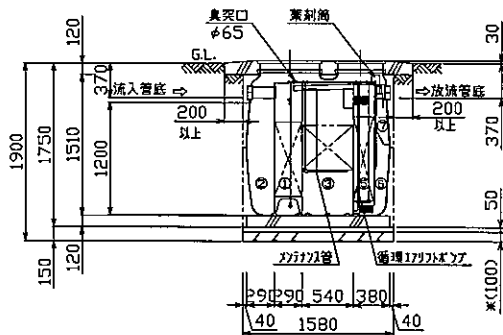
平面図 S=1/40



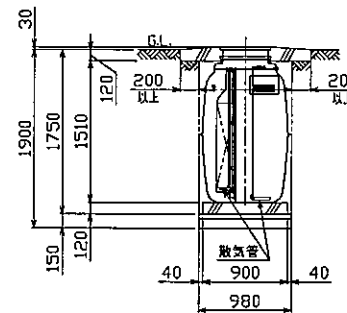
送風機 平面断面図



B-B断面配筋図 S=1/40



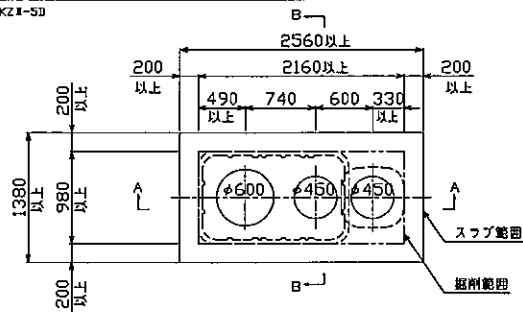
A-A断面図 S=1/40



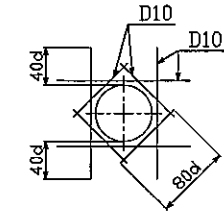
B-B断面図 S=1/40

仕 様	
種類 / 型式	合併処理 / KZ-II-5
処理方法	担体流動接触床循環方式
処理対象人員	5人
一人当り汚水量	0.2 m ³ / 人・日
計画汚水量	1.0 m ³ / 日
流入水BOD濃度	200 mg / L
放流水BOD濃度	20 mg / L
BOD除去率	90%以上
流入水T-N濃度	45 mg / L
放流水T-N濃度	20 mg / L
T-N除去率	56%以上
流入水SS濃度	160 mg / L
放流水SS濃度	15 mg / L
SS除去率	91%以上
有効容量 m ³	
① 汚気ろ床槽	0.105
② 沈殿分離槽	0.432
③ 曝気ろ床槽	0.528
④ 拒体流動槽	0.205
⑤ 接触ろ床槽	0.400
⑥ 沈殿槽	0.083
⑦ 消流槽	0.015
総容量	1.408
電気機器仕様	
送風機	60L / 分 (0.015MPa) 100V, 35W, 1台

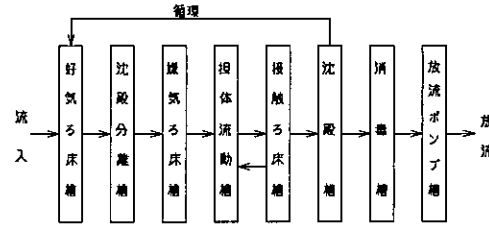
特記事項	
使用材料	コンクリート FC=21-18 (15) -20 (25) 色し、捨てコン・筋床コンクリートは FC=18N / m ² 鉄筋 SD295A (規格品) 特記なき事項はJASS5による。
配筋事項	縦向き・定着長さ 全て40dとする
*砕石厚サの条件 (本体は砕石100mmとする)	
地盤	土質 N値 N≧10 岩盤・土層 N<10 N≧10 シルト・粘土・ローム
地盤 (砕石)	種別 地はだ 砂利 砂利 砂利 砂利 厚さ (mm) 100 100 60 150 60
地耐力	必要地耐力 40 kN / m ² (想定)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・埋置1m以下の場所に設置して下さい。 ・施工時に地質、地下水位を調査し、地耐力を調査して下さい。 ・周囲等の直垂に耐える地盤に設置して下さい。 ・地下水値に応じて排水防止して下さい。 ・かさ上げが300mmを超えないようして下さい。 ・本体はかさ上げ100mm付の施工図です。 ・上層スラブは必ず土層で200mm以上受けよう層間距離に同じ寸法を調査して下さい。 ・拒体流動槽にタイヤが通らないよう排水槽の厚みに注意して設置して下さい。 ・その設置場所の取付寸法と受電の取付寸法に上層スラブの寸法を調査して下さい。 ・駐車車両は、総重量2T以下の車両となります。 ・貯留容量は、±10mmの公差があります。 ・流入排水管は、製品全高に対して±10mmの公差があります。 ・浄化槽容量は、本体版厚さの高さで表記。
*臭突管 (排気管) について	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所が風通しがよく臭気がこもらないような場合や風速ポンプ機がある場合は、必ず臭突配管 (または送気管) 工事をして下さい。 ・詳細は、施工要領書を参照下さい。



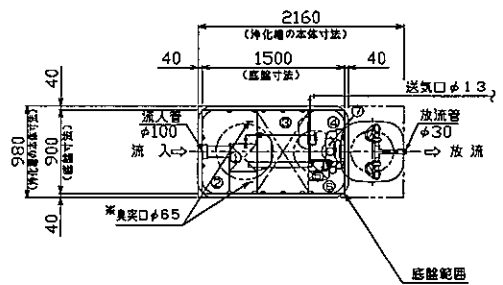
頂版開口図 S=1/40



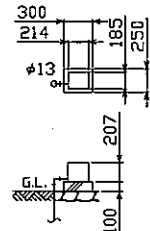
開口補強筋要領図 S=1/40



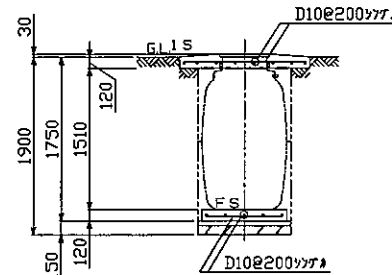
フローシート



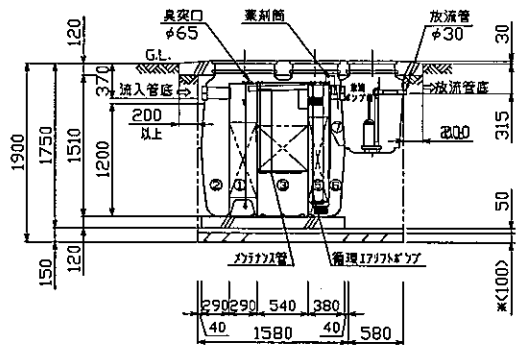
平面図 S=1/40



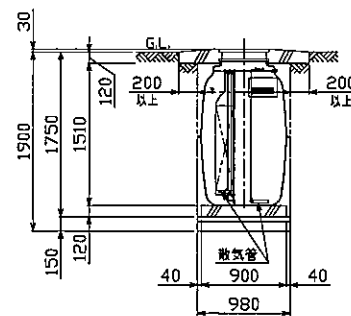
送風機 平面断面図



B-B断面配筋図 S=1/40



A-A断面図 S=1/40



B-B断面図 S=1/40

仕様	
種類 / 型式	合併処理/KZII-5 (D)
処理方法	担体流動接触床循環方式
処理対象人数	5人
一人当り汚水量	0.2 m ³ /人・日
計画汚水量	1.0 m ³ /日
流入水BOD濃度	200 mg/L
放流水BOD濃度	20 mg/L
BOD除去率	90%以上
流入水T-N濃度	45 mg/L
放流水T-N濃度	20 mg/L
T-N除去率	56%以上
流入水SS濃度	160 mg/L
放流水SS濃度	15 mg/L
SS除去率	91%以上
有効容量 m ³	
① 好気ろ床槽	0.105
② 比設分離槽	0.432
③ 嫌気ろ床槽	0.528
④ 担体流動槽	0.205
⑤ 接触ろ床槽	0.040
⑥ 沈殿槽	0.083
⑦ 消毒槽	0.015
総容量	1.408
⑧ 放流ポンプ槽	0.060
電気機器仕様	
送風機	6DL/分 (0.015MPa) 100V, 35W, 1台
放流ポンプ	4DL/分 x 3, 9m x 0.15kW x 2台 100V, フロートスイッチ付 自動交互運転

特記事項	
使用材料	コンクリート FC=21-18 (15)-20 (25) 但し、層コン・集筋コンクリートは FC=18N/m ² 鉄筋 SD795A (商品名) 特記なき事項はJASS5による。
配筋事項	継ぎ手・定着長さ 全て40dとする
* 砕石厚さの条件 (本図は砕石100mmとする)	
地盤	土質 若しくは N値 N≦10 N≧10 シルト・粘土・ローム
地床 (砕石)	層厚 地はだ 砂利 砂利 砂利 砂利 厚さ (mm) 100 100 60 150 60
地耐力	必要地耐力 40 kN/m ² (想定)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪1m以下の場所に設置して下さい。 ・施工時に地盤、地下水位を調査し、地耐力を確認して下さい。 ・集積物の重量に耐える地盤に設置して下さい。 ・地下水位に応じて浮上防止をして下さい。 ・かさ上げが300mmを超えないようにして下さい。 ・本図はかさ上げ100mmの施工図です。 ・上層スラブが必ず土床で200mm以上厚くなるよう基礎に併せて寸法を調整して下さい。 ・前記汚泥層にタイヤが落ちないように汚泥層の厚さに乗積物が設置できるようにして下さい。 ・その他諸事柄の対応は現場の状況に応じて上層スラブの寸法を調整して下さい。 ・総重量は、総重量2トン以下の車両となります。 ・製品全高は、±10mmの公差があります。 ・流入管底は、製品全高に対して±10mmの公差があります。 ・汚泥層全高は、本体厚さの公差で表記。
*臭突管 (排気管) について	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所が風通しがよく臭気がこもるような場合や放流ポンプ槽がある場合は、必ず臭突配管 (または通気管) 工事をして下さい。 ・詳細は、施工要領書を参照下さい。